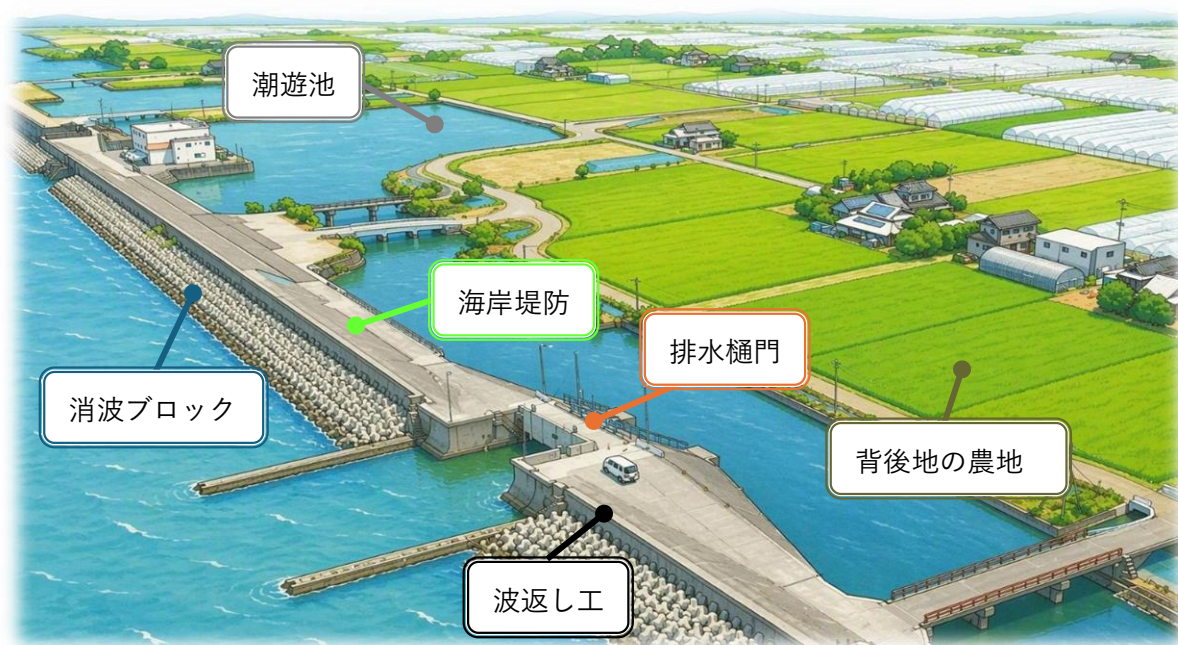


令和8年熊本地震に係る郡築海岸・昭和海岸の状況について

1 海岸堤防/事業概要について

全国有数の農業生産地帯である八代地域は、江戸時代より八代海の干満差を利用した干拓の適地として着目され、広大な平野となっています。干拓は、干潟を囲む形で堤防を造り陸地化する技術です。この堤防を、海岸堤防あるいは干拓堤防と呼んでいます。

昭和海岸は大正時代に、郡築海岸は明治時代に築造した堤防で、日奈久断層帯等で想定される大規模地震に備え、直轄海岸保全施設整備事業「八代地区」により令和6年度から耐震対策工事に着手しています。



～海岸堤防のイメージ～

2 地震後の状況

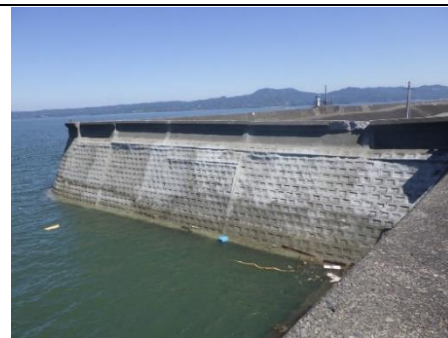
今回の令和8年熊本地震により堤防の法面及び道路の沈下や亀裂、潮遊池護岸の崩落、波返し工の目地の開き等の被害が確認されました。

被害が確認された箇所の被害拡大を防ぐための応急対策は既に完了し、現在は、監視・巡視を継続しています。

応急対策については、以下の3点を実施しました。

- ①堤防の法面及び道路の亀裂箇所等に浸水を防ぐブルーシートを設置
- ②潮遊池護岸の崩落箇所に法崩れを抑える袋詰玉石を設置
- ③樋門周辺の波返し工下部の空洞化箇所等にセメント系材料を充填

また、9月 11 日の大潮の満潮時の監視・巡視においても、海水の浸入を防ぎ農地や集落を浸水から守る堤防の機能が保たれていることを確認しています。

被害状況	応急対策状況
 道路の亀裂	 ブルーシートの設置
 潮遊池護岸の崩落	 袋詰玉石の設置
 堤体護岸の目地開き	 モルタル吹付による補修
 波返し工下部の空洞化	 セメント系材料による空洞の充填

3 今後の対応

引き続き、継続して監視を行いつつ、熊本県・八代市等と連携し、情報の提供に努めてまいります。
地震被害の復旧及び耐震対策工事を着実に進め、早期の事業完了に向けて取り組んでまいります。

4 FAQ

Q1: 堤防は安全ですか？

A1: 熊本地震により被害を受けた箇所については、応急対策を実施するとともに監視、巡視を継続しています。現状で直ちに危険な状況は確認されていません。

Q2: 満潮時に危険はありませんか？

A2: これまでも大潮の満潮時に点検しております。直近では9月11日の大潮の満潮時に点検した結果、これまでどおり海岸堤防の機能が保たれていることを確認しており、潮位に対して現状の堤防天端高さは十分な余裕があります。
今後も潮位や気象状況を注視しながら堤防の監視を継続します。

Q3: 情報はどこで確認できますか？

A3: [農林水産省九州農政局八代海岸保全事業所のホームページ](#)及び[農林水産省九州農政局](#)等でお知らせいたします。

＜お問合せ先＞
農林水産省九州農政局八代海岸保全事業所
工事第一課 福嶋、森

TEL : 0965-37-8955
H P : [八代海岸保全事業所：九州農政局](#)